

令和6年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和6年7月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和6年7月29日（月）13：30～15：40

場所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者：美容用品商業組合員（今井物産代表） 五味 寛雄先生
株式会社アーク代表（本校卒業生） 竹松 正弘先生
小原校長・桐山事務局長・小口教務主任

○小原校長より

職業実践認定校としての責任を持って学生達に今まで以上に満足してもらえる学校にしていくために、第三者評価を参考にさせて頂き、学校からの情報の発信もしていきたい。今後も引き続き、忌憚ないご意見宜しくお願い致します。

【議題】

1. 令和6年度第1回自己評価委員会報告

令和6年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和6年度中間報告として、教育理念の2項目・学校運営の3項目・教育活動の4項目・学修成果の3項目・学生支援3項目・教育環境の1項目・学生募集と受け入れ2項目・社会貢献1項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

また、評価4から評価3に下がった理由についても説明を行った。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

今後の課題

① 学校管理システムの構築→10月校長主任会にて提案し具体化していく

② 国家試験学科対策の強化

中項目の捉え方として、両校差があるが、各校の特色として自己評価へとつなげてほしい。

学校組織の在り方として、両校で意見を出し合い、箇条書きにして優先順位をつけて検討して欲しい。

今年度も引き続き、生徒募集に力を入れてほしい。

（基準1） **総括** 令和6年度職員組織について、長野校美容科昼間課程の担任と通信課程の担任として2名、松本校より出向人事を行った。

・引き続き、教職員希望者を注視しながら職員組織の充実を図る。

・令和5年度理美容師国家試験の結果

理容科 受験者6名 合格者6名 合格率100% 美容科 受験者85名 合格者74名 合格率87.1%
美容科不合格者11名は筆記試験の不合格者となり、卒業後の再受験のフォローと共に、今後の筆記試験対策を検討していく。

・8月には両校嘱託講師による、試験対策の打ち合わせ会を計画している。期末試験の取り組み方から、低位生の学力に繋がる学習方法について計画性をもって充実させていく。

・令和7年度寄付行為の法改正に沿って、必要とされる学則、学費等の変更を社会動向も踏まえて適切に対応させていく。

学校関係評価委員コメント 竹松委員より

先生方の努力はきちんと伝わっているので、継続して頑張っていてほしい。

学校関係評価委員コメント 五味委員より

問題なく適切に行われている。継続していくしかない。

今後の改善方策

全員合格を目指していく。学習習慣を身につけさせる必要があるため、各学期ごとテストのクオリティをあげていく

(基準2) 令和6年4月 通信理容修得者課程(美容科1.5年制)の受け入れを開始した。24期春生3名。

- ・令和6年以降の「ビューティコレクション」については、各校の「ヘアショー」として、生徒の主体性を高める取り組みとして進めていく。
- ・令和7年度以降、修学旅行の在り方について、生徒・保護者等関係各所の事情を考慮しながら検討していく。
- ・理容科1名美容科1名計2名の教師について、教育センター「文化論」の資格取得を計画している。

学校関係評価委員コメント 五味委員より

業界料金については、値上げ傾向である。新商品は確実に値上げをしている。

修学旅行として、6月16日・17日に開催される第10回アジアビューティエキスポ(大阪)も検討してほしい。

学校関係評価委員コメント 竹松委員より

物価高騰のため、料金アップをしているが、必ず付加価値をつけている。

今後の改善策

ヘアショー、修学旅行について、学生主体に考えながら、時代に合わせた内容を今後、検討していく。

年々、団体行動が難しくなっている。表参道コレクション等も視野にいれていきたい。

在校生満足度を第一に考え、引き続き対応していきたい。

(基準3)

- ・令和5年度卒業生の就職状況 103名
県外 36名 県内 57名 他業種 3名 未定7名
美容科国家試験不合格者11名(内定取り消し者2名)
- ・令和6年度6月、各学年において生徒へのアンケートを実施した。個々の不満や意向を読み取ることで、今後の個別指導、クラス指導に活用させていく。
- ・昨年度3月学園研修会にて、豊野学園より講師を依頼して多様性に関わる生徒指導について、具体例を示しながらの教員研修会を行った。
- ・令和6年度8月に、長野松本両校交流研修会にてEQ「心の指数」に関する教員研修を計画している。
- ・令和6年度8月に、長野校松本校嘱託講師による国家試験教科打ち合わせ会を計画している。
- ・令和5年度第49回理容師美容師国家試験結果
美容科受験者85名 不合格者11名 合格率87.1% (筆記試験不合格11名)
理容科受験者6名 不合格者0 合格率100%
- ・令和5年度1年生ヘアカラーシングルスター検定 76名 合格率100%
- ・令和6年度理美容科2年生 サービス接客検定
85名受験 68名合格 合格率80% (全国平均76.0%)
(理実不合格3名、理不合格5名、実不合格9名、計17名)

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

接遇の日を作って頂きたい。事前指導が大事である。実務実習前、効果的に導入していけば良いのでは。

サロンでの緊張感もあるためか、声の大きさや挨拶・返事がもう少しできると良い。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

挨拶や返事は、サロン現場において大事な部分である。マツビのアットホームな雰囲気は魅力だと感じている学生一人ひとりに向き合っている学校として継続していくべきである。

今後の改善方策

読む力が弱い学生が多くなってきている。通信制高校希望者が増加傾向であることも踏まえ、時代に合った教育をし、在校生満足度を継続して向上していきたい。

(基準4)

- ・令和6年7月1日現在 退学者1名(美容科2年生) 休学者1名(美容科2年生)
1年生、2年生共に精神的に不安定となる現状もあり、器物の破損等も目立っている。保護者連絡等も含めて、スクールカウンセリングを活用し個別の対応を工夫している。
- ・令和6年度国家試験筆記対策として、8月に長野松本両校の嘱託講師によるリモート打ち合わせを計画している。
- ・コンテスト対策として、卒業生による技術指導の機会を設けている。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

理美容甲子園の経験は、必ず無駄ではない。悔しい思いをした学生さんたちは、サロンに入ってからいろいろなコンテストがあるから挑戦して行ってほしい。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

良い経験が出来たのでは。将来必ず悔しい思いをしたことは役に立つ。

今後の改善方策

理美容甲子園に向かう姿は本当に素晴らしかった。優秀賞3名、敢闘賞10名、デザイン画3名。今後も引き続き、チャレンジする学生たちのサポートを強化していきたい。

(基準5)

- ・令和6年5月みやちのりよし氏(SHACHU)による技術講習会を行った。
- ・6月学園記念講習会として、水谷優香先生(長野市)による技術講習会を行った。
- ・年間計画に沿って、5月と6月に在校生を対象とした、就職ガイダンスを実施した。
- ・令和6年度「給付型奨学金」対象者1年生 14名 2年生 15名—15.1%
「学生支援機構奨学金」対象者1年生 31名 2年生 28名—30.9%
コロナ禍と比較して、給付型が減少し、貸与型は概ね横ばいである。
- ・令和6年度入寮状況(男女22名)
女子寮2年生9名、1年生9名、計18名 空き部屋6室→2名退寮
男子寮2年生1名、1年生3名、計4名(石芝イン北)
- ・新2年生対象の就職活動説明会実施

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

寮を維持していくむずかしさはあると思うが、学生支援という点では魅力的では。

今後の改善方法

寮維持の難しさもある。今後検討していきたい。

在校生満足度に重点をおき、生徒たちを支えていける存在になるよう、前向きに改善していきたい。

(基準6)

- ・令和6年度の取り組みとして、8月19日始業日にて南部体育館を会場として生徒会主催のレクレーションを計画している。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

海外に行き、学べることはあるが、今の時代難しいのでは。奨学金も多く借りている学生も多い。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

韓国メイクを押しているサロンも多いが、現実的ではないのでは。

動画で学べる時代だが、サロン現場ではリアルなセミナー参加者が増加している。ハイブリッドの時代である

今後の改善方策

AI化されない仕事であることをベースに教育を行っていきたい。やはり大事にしていきたいのは人間力である。本校が、休退学者が少ない理由として、先生と生徒の関係の良さである。

- (基準7)** **総括**：生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集まで構築できている。
- ・令和6年度より実施する特待生・指定校生の入試制度変更内容について高校廻りを実施する準備を開始している。
 - ・今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

時代は変化してきている。合わせていく部分も必要である。マツビの人間力・コミュニケーション・伝統校としての魅力は、学生募集において武器である。継続して行ってほしい。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

現状の学校としての魅力を活かしつつ、変化を敏感にキャッチしながら新しい方策も考えていくべきである。

今後の改善方法

今の学校としての魅力は強みとしつつ、時代に合った学生募集を工夫しながら行っていきたい。
令和9年度より、通信制600時間となる件について、業界にも周知させていきたい。令和7年度就職ガイダンス時に説明をしていく。
引き続き、教員確保も課題となるため、協力をお願いします。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善方法

自己評価をすることで、学校教育内容等を見直す良い機会となっているので、継続してより良い魅力ある学校にしていきたい。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

- ・7月美容組合中信支部のイベントとして「ゆかた de GO!」に参加する高校生のヘアアレンジを担当した。
- ・専修学校各種学校連合会中信支部6校によるキャリア事業「いろんなお仕事体験会」を7月1日～11月30日の期間として、放課後の時間で開催する。受け入れ対象としては松本市塩尻市の小学生・中学生希望者にむけ仕事に関わる体験を提供する。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。裾野を広げる活動は大事である。

今後の改善方法

専各連の取り組みであるお仕事体験会から、ヘアフェスティバルのプチヘアショーで、小中高生にモデル体験をしてもらい、好評であった。継続していき、マツビ魅力を伝えていきたい。
コロナも明けたため、社会福祉授業一環として、ボランティア活動に力を入れていく。

2. 重点目標について（別紙1・2参照）

（1）令和6年度重点目標実施報告

中間報告として、現時点で令和6年度重点目標の実施状況の報告

重点目標① 教職員の協力体制による指導力の向上

- クラス担任による指導を主としながらも、学年全体で個々の生徒に向き合えるように指導内容を共有していく。
- 学年全体で新任教員の育成に関わりながら、自らも指導方法の改善に努める。
- ・1学期の振り返りとして、精神的な不安を持った生徒への対応が目立っていたが、保護者連絡等も密に行い、個別対応を実施した。
- ・各学年における情報共有により、クラス間の差異が少ない指導体制を築くことができた。

重点目標② 教師と講師との連携強化

- 嘱託講師との連携を強化して、授業への取り組みを向上させていく。
- 嘱託講師の授業内容、授業計画を把握して、自らも学ぶ姿勢で関わっていく。
- ・長野校との嘱託講師による打ち合わせ会を計画して、筆記試験対策の充実につなげる。
- ・1学期末の合同打ち合わせ会において、各学年で担当との講師打ち合わせ時間を新たに組み込むことで、情報共有の機会とした。

重点目標③ 教師と生徒との距離感を意識する

- 初めと終わりを意識して、本時の導入とまとめを明確にしていく。
- 個々の生徒に対して見落としの無い、平等な指示と評価を心掛ける。
- ・各クラス担任は、学級運営を滞りなく行っている。
- ・5月に生徒アンケートを実施して、個別の不満や問題点を可視化することができた。
- ・器物の破損や休み時間に奇声をあげる生徒に対しても、保護者連絡も行いながら指導を続けている。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

時代の変化に合わせてつつ、マツビの良い特色を活かし、学習環境を整えながら進めていってほしい。変革の時である。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

VR寄りの生徒に対して、プラスアルファのリアルを伝えていく必要がある。先生たちの努力は十分理解している。引き続き、学生たちに寄り添っていく教育をしていってほしい。経済的サポートも必要な時代では。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・重点目標に沿って、評価4を質の高い内容にするべく、努力していく。

3. 次回予定

令和6年度 第2回学校関係者評価委員会 令和6年2月27日（木） 13:30～